# 家族ぐるみで春闘へ

二月二五日、各支部より主婦会員の方々に集まつていただき、今春斗を主婦の立場からどうみるかを語つていただきました。

（出席者）
宮浦　金志美代子（33）馬渡
三川　隈元よし子（45）万田
四山　菊川五百子（43）四山
本所　平川　弘子（29）宮原
港務　池田　ヒデ（49）新港
本部　吉田　アツ（50）宮原
本部　久保　時江（44）鷲
司会　編集部

「春斗を夫とともにがんばろう！」と語りあう主婦会員

## 物価値上げに反対し六、〇〇〇円を闘いとる

## 座談会　春闘を主婦の立場で

### どんどん上がる物価

【司会】　本日はお忙しいなかをお集まりいただきましたのは、大幅賃上げ・物価値上げ反対などの春斗に対して、主婦の立場からどうみるか、そして夫とともに斗いとる心構えをお話しいただきたいと思います。まず台所に直接ひびく物価値上げによって、どのくらい生活が苦しくなったでしょうか。

【池田】　みそ、しょうゆをはじめ、米代はもちろん、医療費、とこ屋、パーマ、食料品、水道料金まで、ほんとうに上がらないものはないですね。

【菊川】　うちは家族五人で、子どもは学校給食をうけていますが、それでも昨年は米代五千円だったのがいまは六千円かかります

【隈元】　四人家族ですが、主人がCO患者で入院しているので病院とうちとで二世帯もっているのと同じです。それに私が内職していると、どうしてもインスタントですますなどして、買いすぎてムダになります。

【久保】　六人家族で、米代だけで一千六百円くらい上がりました。主人がCO患者でもらう金が月一万円ありません。それで米代分だけしかないので、主人に一円の小づかいもやれません。これでまた物価が上がったら、いよいよ食えません。いまでさえ一人あたりの食費だけで一千円ぐらい上がっています。

【金志】　むかしの百匁のときの値段と、いまの百グラムの値段と変りません。四倍くらいになっている感じです。もらってくる給料はあまり変っていないのですから、それだけ生活程度が低くなっています。

### 夢もムードもない生活

【司会】　政府は労働者の生活水準は上がったといっていますが文化生活とはほど遠いですね。

【一同】　映画なんかぜんぜんゆけないし、ムードも夢もないですよ。

【隈元】　着たい、食べたいと思ってもあきらめがさきにたち、あとで〝同じ人間なのに、なんと情けない〟とショボンとなります。いろんな望みを自分から捨ててはおしまい……。だって労働者だって人間だもの。

【菊川】　経済的にできないのをあきらめず、要求を上へ発展させてゆく。せん望から悪口になってはいけませんね。

【司会】　そういう〝ひゅうとり根性〟はなくさなければいけませんね。

【吉田】　買い物するのに一部にはたしかに見栄みたいなものがありますが、そればかり強調すると〝しんぼうするのが偉いのだ〟という考え方になりがちです。私たちはもっと精神的なうるおいを高める必要があるのですが、それではいまの賃金は低くすぎるというところに目をむけるべきでしょうね。

【池田】　そういうふうに賃金をとるべきだという考え方をすると、資本家のやり方のあくらつさがピンときます。テレビがないと子どもが学校へ行って先生の話にもついてゆけないし、友だちとも話せないで恥しいというので、苦しい中から買うというように、むかしはなくともよかったのがいまはいるというように、一般の生活水準が上がっているのですから。〝ナイショ〟というものがないもん。まあ、かくれてするならパチンコか酒を飲むかぐらいで女あそびなど、はした金ではぜんぜんできんし……。

【隈元】　ほんとにそれだけは安心しとっていいですね。女の方から金をみついであそぶほど、いい男でもないし……（爆笑）賃金が安くてタッタ一つのとりえですたい。

【久保】　地域で感じることですが、組合員も主婦も賃金が減ったから生活が苦しくなった。たらんたらんとほいうけれど、家庭のなかではいろんな面できりつめてやっている。買いものに行ってもこんなに高いなら困るといいながら、奥さんたちはいままで内職に一〇日出ていたのを一五日出て、上がってはいけない。

### 頭のよい子で悲しい思い

【司会】　子どもの教育の面ではどうでしょう。

【池田】　貧乏人に頭のいい子ができると悲劇が生まれます。親はぜひ学校へやりたいと思うが金がともなわないから。私も子どもを勉強させるのは、資本家になそうと思ってさせるのではない。その資本家と対等になれるためにと理想をもっていたけれども、子どもができて学校に行くというと、金がないことがとても親の甲斐性なさとなってつらい思いをします

【久保】　いま次男が夜間高校に行っていますが、子どもは子どもなりに経済的な家庭の苦しさを考えているようです。

### 人間らしい生活の要求を

【司会】　春斗では斗わんならんといいながら〝金額とれるだろうか？総評・炭労は斗えるだろうか？〟とひっかかるものがある。要求を出して〝一生懸命斗った〟という結果で考えなければと思いますが、どうでしょう。

【平川】　〝六千円要求してもどうせとれないから……〟というのがありました。それで主婦会で話しあって〝斗わなければ現在の賃金ですらとれなかったのだから……〟ということになって、おとうさんは職場でがんばってもらい物価が上がって直接感じる主婦の立ち場からは、物が上がることにグチばかりいい合わないで、そのぶんをおとうさんに〝がんばってください〟とハッパをかけようということになりました。

【隈元】内職していると主婦会の役員にも出たがらなくなります

【司会】　内職の方を横目でみたらんぶんを補なう。こういう家庭内のやりくりをやっているだけで、積極的に斗う意欲がないように思います。賃上げしなければならんという気はあるが、斗ったって同じだというあきらめが多いように思います。

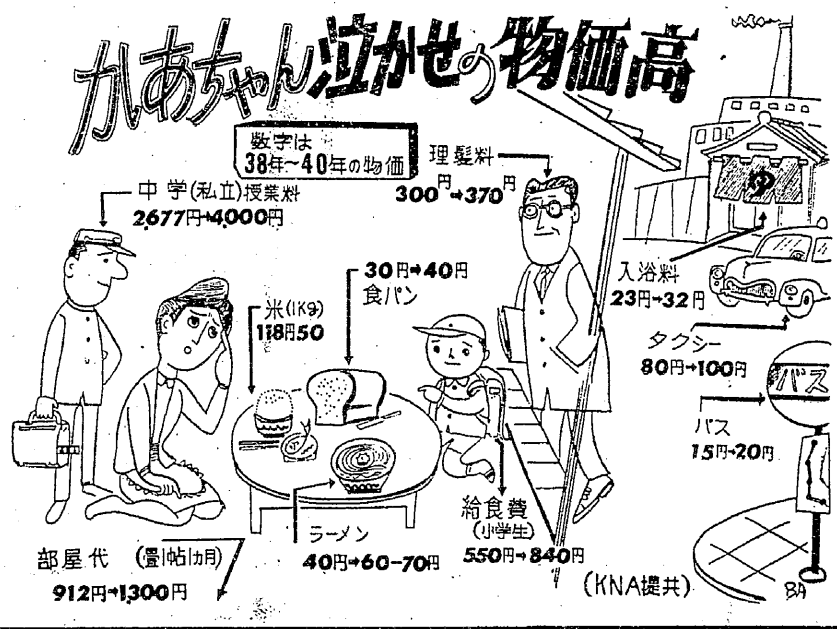
【池田】　私は内職していないので、おとうさん一人の給料で暮らしている。だから賃上げがあると、とてもうれしかった。しかし物価がどんどん上がるから、よろこんでいるひまがない。それであり がたみがうすれる。でも斗わねばとれないし、やっぱり春斗は斗わねばと思います。

【隈元】　内職すると、ほんとうにつらいことが多い。女が内職すれば、おとうさんの賃金のたりない分はとれるからと、安易に考えてゆく。まともに賃上げをみてゆく。実際には内職しなければやってゆけないのだから、その気持ちがさきに出てこないと問題があります。それに文化的な生活に対するあきらめが〝しょのみ（うらやみ）〟になり、愚口になるというひゅうとり根性をなくし、自分の一生の生活をよくしようということがないなら意欲がでない。そこで〝要求書を出しても同じ……〟というのには、どうしたらいいのでしょうか。

【池田】　物とり主義だけで考えるとそうなる。そうではなく運動の方向で考える必要があると思います。要求書を出して〝このへんでやめとこか〟になるのかどうか、みんなで話しあえば斗わねばならないことがわかると思います

【金志】　春斗は自分たちの生活をよくする一人一人の要求でなくてはね……。それに物価値上げの方へももっときびしく目をむける必要があると思います。

【司会】　きょうはどうもありがとうございました。春斗でともにがんばりましょう。



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 3033番 8100番
兼発行人　澁田紀生

### 組合日誌（2月）

17日　宮浦坑内二番方時限スト（148回）三番方方別スト。
18日　三川坑内二番方時限スト、三番方方別スト。
20日　四山坑内一番、二番、常一番、坑外全員時限スト。三番方方別スト。
24日　宮浦坑内二番方時限スト。三番方方別スト。
25日　三川坑内二番方時限スト。四山、三川坑内三番方方別スト。
27日　宮浦坑内、常一番、坑外全員時限スト。（159回）

### かくれて遊んだりできない

【司会】　〝組合員の方は自分の受けとる金がどうなっているのかはくわしいが、支出の方はよくわからない。奥さんは出し前の方にはくわしいが、賃金の内容はよくわからん〟というように、同じ金をみるのにみる目が違っています。〝物価が上がっているから春斗でがんばらねば〟という受けとめ方が家族会議などでなされているでしょうか。

【池田】　たまに〝金がない〟と私がいうと、主人は〝もうのうなったかい〟というときがありますね。主人には酒、たばこのほかは小づかいをやったことがない。酒もカケで飲んできたら払うし、